

アンプシミュレーターの使用方③

エフェクターの設定

エフェクターの接続

信号の流れは上から下へ(①~④)と流れる



- **プリエフェクト**
ギタリストの足元側のエフェクターを想定
- **ヘッド**
アンプのヘッド(プリアンプ/パワーアンプ)部分。コンボタイプでも分かれている。
- **キャビネット+マイク**
スピーカー部分とマイク。コンボタイプで変更可能。
- **マスターエフェクト**
PA卓やレコーディングスタジオでかけられるエフェクトを想定

プリエフェクト / マスターエフェクト

プリエフェクト

ギタリストがアンプの前段(足元)につなぐペダルタイプのエフェクト(モノラル)を想定

マスターエフェクト

スタジオエフェクト(ギタリストではなく、ミキサー、PA側でかけるもの)や、ギタリストが使うステレオエフェクトを想定。

前述の通りアンプが1台の場合は物理的にモノラルなのでアンプの前段にステレオエフェクトを繋いでもモノラルでしか出力できないが、④のいちに繋げば簡単にステレオ化出来る。

モジュレーション系、空間系、トータルコンプやトータルEQなどはここに繋ぐと良い。

主なエフェクター



アンプ同様、歴代の有名エフェクターがモデリングされているが、メーカー名、モデル名などはボカしてある

モデル名	ベースになった機種
Big Fuzz	Electro Harmonix Big Muff
Cat	Proco RAT
Distortion	BOSS DS-1
Skreamer	Ibanez TS-9 (チューブスクリーマー)
Stomp Compressor	BOSS CS-1
Cry Wah	Jim Dunlop Cry Baby
Ensemble	BOSS CE-1
Phaser Nine	MXR Phase 90

ワウペダル系はエクスプレッションペダルをMIDI接続することで実際にペダル操作可能

Dinamics、Distortion

Stomp Compressor

ペダルタイプのコンプをシミュレート。

ペダルらしいアタックの強調されたパコーンとした音。

Big Fuzz

Electro Harmonix社 Big Muffをシミュレート。

ファットで伝統的なファズサウンド。

Cat

Proco社 RATをシミュレート。

カラッとしたディストーションサウンド。

Distortion、Filter

Distortion

BOSS社 DS-1をシミュレート。
カラッとしたディストーションサウンド。

Skreamer

Ibanez社 チューブスクリーマーをシミュレート。
ナチュラルなオーバードライブサウンド。

Cry Wah

Jim Dunlop社 Cry Babyをシミュレート。
王道のワウサウンド。エクスプレッションペダルなどでMIDIコントロール可能。

Modulation、Reverb

Ensemble

BOSS社 CE-1をシミュレート。
温かみのあるアナログコーラスサウンド。

Phaser Nine

MXR社 PHASE90をシミュレート。
伝統的なフェイザーサウンド。

Spring Reverb

伝統的なスプリングリバーブ。
スプリングらしさを出すならアンプ前段に(モノラル)接続がお勧め。

Studio Reverb

一般的なスタジオリバーブ。
アンプ後段に(ステレオ)接続がお勧め。

設定サンプル① クリーン系



1. コンプレッサー

Stomp Compressor。
粒だちを揃えるのみ。SUSTAINは低め。

2. アンプ

Twang Reverb
1ボリュームなので、歪まないようボリュームは低め。
キャビ側でボリュームを稼ぐ。

3. キャビネット

Matched Cabinet
ボリュームを上げた以外はデフォルト。

4. コーラス

Ensemble
アンプ後段に接続(ステレオ)。
アルペジオ系のプレイにはコーラスが合う。

5. マスターエフェクト

ディレイ、リバーブ
長めのディレイ、標準的なリバーブを軽めにかける。

設定サンプル② ドライブ系



1. ブースター
Skreamer
ブースターなのでドライブ低め、レベル高め。
2. アンプ
Lead 800
プリボリューム(PRE-AMP)は10時方向くらい。
ギターの出力やブースターとのバランスで
歪み量を決定。
3. キャビネット
Matched Cabinet
クリーン同様デフォルトのまま。
4. マスターエフェクト
ディレイ、リバーブ
30～40msくらいのショートディレイで輪郭をつけ、
ホールリバーブを軽めにかける。